

配布資料 04-1

第 1 回

姫路市経済振興ビジョン検討懇話会

令和 8 年（2026年） 2 月 1 2 日（木）

姫路市 観光経済局 商工労働部 産業振興課

報告

- 1 姫路市経済振興ビジョン
- 2 第1回姫路市経済有識者会議 開催報告
- 3 データ調査分析 結果報告 【別紙】
- 4 将来推計 紹介 【別紙】

意見 交換

- 1 姫路の10年後のあるべき姿
…バックカスティングの紹介

1 姫路市経済振興ビジョン ～概要・スケジュール～

姫路市経済振興ビジョン

姫路経済の成長と持続的な発展を目指し、成長への道筋を実現・実行するものとして今後取り組む戦略、施策を体系付けて整理した計画。

人口減少下においても地域資源を活かし持続可能な経済成長を目指す。

姫路市経済振興ビジョン 改定スケジュール

- ・ 改定作業は2カ年かけて行い、令和9年3月に完成予定。
- ・ 検討懇話会は令和7年度に2回、令和8年度に4回程度開催を想定。
- ・ 姫路市経済の10年後の「あるべき姿」を見据え、有識者からなる検討懇話会にて協議する。



1 姫路市経済振興ビジョン ～進捗・課題～

現行計画の概要・進捗

- 平成21年12月に「姫路市経済振興ビジョン」を策定。以降経済動向を適宜反映させたビジョンへ改定を重ね現在に至る。
- 現行ビジョンは令和3年3月に改定。分析を基に、姫路市が経済振興に取り組むための基本方針、今後重視する視点を定め、基本方針に基づく政策と施策を実施。前回ビジョン(H27年度～R2年度)はものづくり戦略として製造業の振興に力点を置いたビジョンであったが、現行ビジョンはコロナ禍によりダメージを受けた地域経済の振興や、ポストコロナにおける成長力強化を見据えたデジタル改革等幅広い分野の経済成長に取り組むための計画と位置付けている。

基本方針・重視する視点・政策

<基本方針> 世界に誇れる価値を生む地域産業の確立

- <重視する視点>
- ①IoTとデジタルトランスフォーメーション
 - ②多様な人材が活躍する労働環境
 - ③メイドイン姫路

- <政策>
- ①先端技術を活用したものづくり産業の革新と成長産業の参入促進
 - ②地域に根差す中小企業・地場産業の安定的な経営基盤の確立
 - ③地域経済の発展を支える企業集積の推進と物流・交流機能の充実
 - ④産業人材の確保・育成と時代に合わせた労働環境づくり
 - ⑤地域経済に新たな活力を生む創業支援

計画概要図、KPI推移は別紙をご参照ください

当該分野における本市の課題

課題① 産業の構造転換への対応に遅れ

- IT導入、DX実装に遅れ

姫路市製造業企業の5割がデジタル化が「進んだ/やや進んだ」一方、残り5割は「あまり進んでいない/全く進んでいない」と回答

- 企業間連携の不足

外部の企業・団体等との連携を進めている事業所の方が業績が良い傾向がみられるが、連携していると回答した割合は26%程度

課題② 人材確保・技能承継

- 若者流出・人手不足

姫路市では、全年代のうち20代の転出超過が突出して大きい。女性労働力は増加しているが女性管理職割合が低く、若者や女性雇用に課題

- デジタル人材の不足

デジタルの担当者が居ないと回答した企業は3割(商工会議所アンケート)

課題③ 知名度・ブランド発信力

- 観光者の滞在時間や消費額の低さ

宿泊客のうち、市内宿泊率は39.1%。平均消費額は2万円(観光動向調査)

- 販路拡大・海外展開ノウハウ等の不足

「ものづくりに必要な支援策」として”受発注先の紹介”や”販路拡大支援”、”成長分野進出支援”等が挙げられている(商工会議所アンケート)

2 姫路市経済有識者会議 ～概要（1/2）～

- R9に改定/策定予定の「経済振興ビジョン」「観光戦略プラン」及び「国際戦略」の3つの分野別計画において、横串を通すことを目的とする。

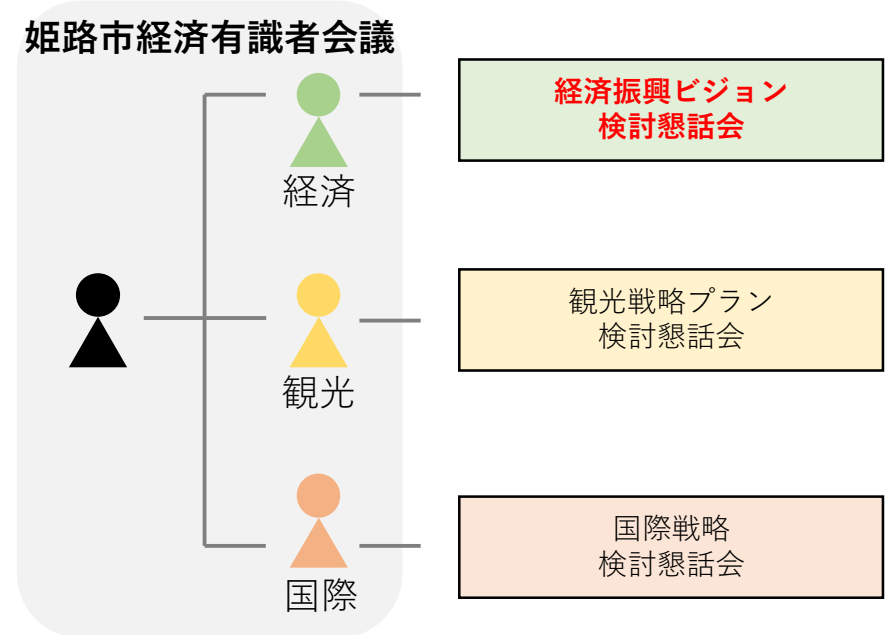
設置経緯

隣接する分野である3計画について、どちらの領域かあいまいな項目についても漏れなく拾い上げ、横串の通った計画とするために連携を図る目的で設置。

位置付け

- 経済振興ビジョン、観光戦略プラン、国際戦略プランを**統括する会議体**。
- 姫路市より各計画の進捗を報告し、**意見やフィードバックを頂戴**する。
- 各委員は本会議での協議事項を所管計画の**検討懇話会へ共有**し、**計画へ反映**させる。

2月6日（金）に第1回を開催
各計画の検討懇話会の開催に先立ち課題を整理



2 姫路市経済有識者会議 ～概要（1/2）・開催報告～

開催スケジュール

令和9年3月までに3回程度を想定

メンバー

(座長)		高坂 誠	：兵庫県立大学学長
(委員)	経済分野…	畑 豊	：兵庫県立大学副学長 兼 社会価値創造機構長
	観光分野…	長尾 真	：姫路商工会議所副会頭（神姫バス代表取締役社長）
	国際分野…	加納 郁也	：兵庫県立大学副学長
		高坂 誠	：兵庫県立大学学長（ <u>座長と兼務</u> ）

(事務局) 姫路市 … 各計画を所管する部署の部長級が参画
経済振興ビジョン…商工労働部長，観光戦略プラン…観光コンベンション室長，
国際戦略…市長室長

第1回

R8年2月12日
午後3時～

- 3つの計画の関連性
- 改定の進め方
- 各計画の大枠の説明

→課題整理

第2回 (案)

R8年7月頃

- 進捗報告（骨子等）
- 各委員によるフリーディスカッション

第3回 (案)

R9年2月頃

- 最終報告
- 3つの計画の総括

会議要旨

- どの地域にもあてはまる画一的な計画ではなく、姫路市の特徴が見られるビジョンの作成が必要
- 3計画の中では経済の占めるウェイトは大きい
- 広報戦略が重要

1 姫路の10年後のあるべき姿～バックキャストिंगの紹介（1/3）～

これまでの計画策定の手法

現在の施策成果から将来予測を立て、より上向きの成長を目指す

→フォアキャストで計画を策定

<特徴>目下の課題に対して有効、現在の状況にあった施策を実行できる

しかし…

2000年代以降

- 人口減少社会
- 新技術による技術革新
- グローバル化の進展により海外情勢が国内にも大きな影響を及ぼす

→不確定要素が多く、将来予測が困難に

フォアキャストで描かれた「現在の延長線」の計画ではフォローしきれないことも

1 姫路の10年後のあるべき姿～バックキャストिंगの紹介（2/3）～

- 現状の延長線上に将来を描く「フォアキャストिंग」での計画では、未進出分野への対応が困難

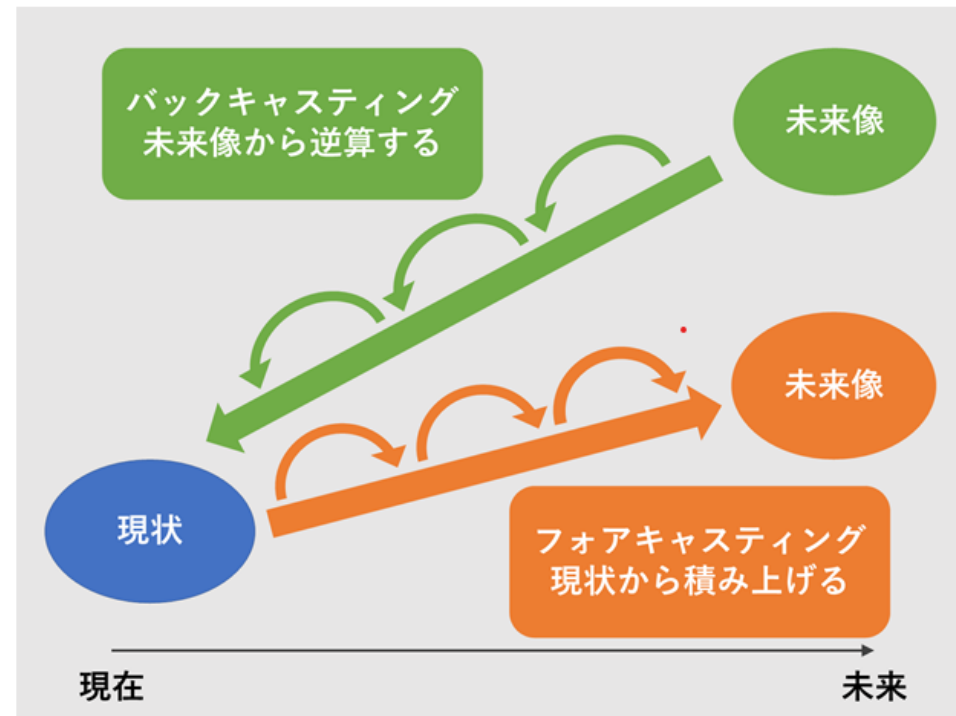
→あるべき未来像を描き、その将来に至るために取るべき行動を検討する「バックキャストिंग」の手法で新たなビジョンを導く

バックキャストिंग

- 未来像から逆算する
→描きたい将来を定義する
- その実現に向け、踏むべき段階を明確化し施策に落とし込む

フォアキャストिंग

- 現状の延長線上に将来を描く
→現在の状況を前提とする
- 現状課題の解決/現在実施中の施策の継続をもって成長を目指す



(バックキャストिंगとフォアキャストिंग)

1 姫路の10年後のあるべき姿～バックキャストिंगの紹介（3/3）～

- 令和7年度においては「バックキャストिंग」により、まず「10年後のあるべき姿」を描き出す

例えば…

- 製造業では どうなっていてほしい？
- 働き方は どうなっていてほしい？
- 地場産品は どうなっていてほしい？
- 女性活躍では どうなっていてほしい？
- 企業間連携・産学官金連携では どうなっていてほしい？
- AIは社会にどのような変化をもたらしている？
- どのような暮らし方が実現されていてほしい？